

2026年5月29日

各位

会社名 三菱製紙株式会社
代表者名 代表取締役社長 木坂 隆一
(コード番号：3864 東証プライム市場)
問合せ先 ガバナンス統括部長 塚本 貴夫
(TEL：03-5600-1488)

三菱製紙グループ「クレド（信条）」制定のお知らせ

三菱製紙株式会社は、グループ全体の行動指針となる「クレド（信条）」を下記の通り制定いたしましたので、お知らせいたします。

記

(1) クレド（信条）

1 【自律と成長】

挑戦→変化→成長。自ら考え、「昨日の自分を超越る」一步で新たな価値を創ります。

2 【誠実と信頼】

「真っ直ぐ」な誠実さと「磨いた力」で。仲間とともに確かな信頼を築きます。

3 【感謝と幸せ】

「ありがとう」の言葉を大切に。繋がる全ての人へ「よろこび」を届けます。

(2) 「経営理念」「企業行動憲章」「クレド」の位置づけ

当社グループの最高概念である「経営理念」、リスクや不祥事を避けるための「企業行動憲章（揺るぎない規範）」を土台とし、それらを実現するために、全役職員が日々実践すべき攻めの行動基準・スタイルとして、今回の「クレド」を位置づけております。

(3) 策定の背景

- 自分事化：「当社グループをどのような会社にしたいのか」、「そこで自分たちが何を実現したいのか」を考え、抽象的な「ルール」としての企業行動憲章を現場の一人ひとりが日常で判断・行動できる「自分たちの信条」へ翻訳しました。
- 再生への決意：過去の品質不適切事案等のコンプライアンス事案を真摯に受け止め、二度と同じ過ちを繰り返さないという不退転の決意も背景にあります。

(4) 策定のプロセス

- 徹底したボトムアップ：約2年にわたり、社歴勉強会や職場協議会を実施。現場の率直な課題感と向き合い、それらを未来への期待へと繋げる対話を重ねてきました。
- 1,700件の投票：最終候補案に対し、従業員から1,700件以上の投票と膨大なコメントが寄せられました。今回のフレーズは、そのコメントを一つひとつ分析し、現場の想いを丁寧に紡ぎ出したものです。

(5) 「クレド」の各フレーズの作成意図

クレド	作成意図
<p>1【自律と成長】 挑戦→変化→成長。自ら考え、「昨日の自分を超越る」一歩で新たな価値を創ります。</p>	<p>挑戦を起点に、変化し、成長していくために、自ら考え動き出す姿勢を掲げました。 たとえ大きな変化でなくとも、日々の「一歩先」を大切に、昨日の自分を少しずつ超えていくことで、各役員や従業員が成長するとともに組織として新たな価値を創造していく。まずは、全ての行動へと繋がる積極的な「動」の姿勢を示します。</p>
<p>2【誠実と信頼】 「真っ直ぐ」な誠実さと「磨いた力」で。仲間とともに確かな信頼を築きます。</p>	<p>約束を守り、嘘偽りなく向き合う「真っ直ぐ」な姿勢と、プロの技術である「磨いた力」の双方が揃ってこそ確かな信頼が築けるという信念を表現しました。一人ひとりの誠意を丁寧に積み重ね、仲間とともに大きな成果を生み出す強い組織を目指していく。誠実さを揺るぎない価値へと高め、確かなブランドを築き上げます。</p>
<p>3【感謝と幸せ】 「ありがとう」の言葉を大切に。繋がる全ての人へ「よろこび」を届けます。</p>	<p>心で想うだけでなく「ありがとう」と言葉に出して伝えることで、感謝が循環する温かい組織文化を醸成します。直接接している社内外の関係者だけでなく、その先のエンドユーザー等まで見据えた「繋がる全ての人」へ、多様な「よろこび」を届けていく姿を目指していく。仕事の先にある豊かな未来を想い、プロとして社会の幸せの実現に寄与していく決意を込めています。</p>

(6) 今後の展開

全グループ役職員への「クレドカード」の配布や繰り返しの説明会の実施等を通じて、制定したクレドを日々の業務における『行動への約束』として浸透させ、全役職員が一丸となって、お客様や社会に誇れる価値を創造し、お届けしてまいります。

以 上